

吉川の風

東広島市立吉川小学校

令和7年7月1日

No.9 校長 沖 秀治

吉川から世界へ！？

先週の金曜日に、昨年度に引き続き、ハーバード大学客員研究員の光岡伸洋（みつおかのぶひろ）先生をお迎えし、5・6年生を対象とした特別授業を行いました。

といっても、昨年度とはちょっと違って、今年度は先生のお話を伺う前に、6年生が、これまで行ってきた循環型社会を実現するための取組や、今後の活動予定を発表しました。



米袋をペンケースに、緩衝材（通称 プチプチ）をポンチョに、着なくなった服を小物入れやティッシュケースに… 子ども達が廃材の特徴を生かし、新たな付加価値をつけて生まれ変わらせた作品を見て、触れて「これはすごい！ おもしろい！」と感心する光岡先生。また、作品を作る材料を集めるために地域センターに素材回収ボックスを設置した取組も「地域を巻き込んだ活動になっていますね。ナイスアイデア！」と驚かされていました。ミミズコンポストで生ごみ等を堆肥にかえ、それを自分たちが育てている野菜作りに活用している取組は「まさしく循環型社会の実現につながるものです。」と絶賛！

発表後の講評では、「みなさんすごいです！ 地球を自分たちで守りたい、救いたいという思いをもってみんなで力を合わせて行っていることが、後輩たちに受け継がれ、長い取組になればいいなと思っています。」という言葉いただきました。

授業の後半は、光岡先生から「種の保存と継承」をテーマとして次のようなお話をいただきました。

(1) F1種と固有種の特徴など

	F1種	固有種
特徴	<ul style="list-style-type: none">異なる品種を交配し、双方のいいところをした種国内生産の9割がF1種で栽培使用している種の9割は外国から輸入	<ul style="list-style-type: none">同じ形質が代々受け継がれる地域の風土に合った特性をもつことが多い
メリット	<ul style="list-style-type: none">収穫量が多い形や大きさがそろうため商品価値が高い育つ早さが一緒に管理しやすい	<ul style="list-style-type: none">種を採ることができるので、買う必要がない
デメリット	<ul style="list-style-type: none">種が採れないので、毎年種を買わないといけない	<ul style="list-style-type: none">形や大きさが不ぞろいで出荷に向かない場合がある収穫量や育つ早さがF1種に比べて劣る場合がある

(2) 日本の農業の現状

商品価値の高いF 1種におされて日本の固有種は生産数を減らしている。しかし、F 1種はそのほとんどを海外からの輸入に頼っているため、有事の際に輸出入がストップすると日本の農業に大きな影響を及ぼす恐れがある。

そして最後に、「吉川地域にある固有種を探して栽培し、そのノウハウ等を引き継いでいくことが、吉川小学校の一つの文化になればいいなと思います。また、今、6年生が行っているコンポストによる堆肥作成の取組と固有種の栽培が繋がって、循環型社会の実現と固有種の保護が両立できると素晴らしいと思います」と、今後の学習の方向付けを提案してくださいました。

また授業後、光岡先生と話をする中で「子ども達がアップサイクルで作成した作品と、固有種栽培で育てた野菜の加工品等ができれば、ボストンの日本祭で展示販売してもいいかもしれませんね。」と仰ってくださいました。「吉川から世界へ！」実現したらすごいことです。



全校かくれんぼ大会でロング昼休憩獲得！

「月に1回楽しいことをしよう 第2弾」として、児童会主催「全校かくれんぼ大会」が開催されました。今回も先生 vs 児童で勝負！ 全2回戦、交代で隠れ、制限時間内に全員見つけたら勝ち（数の少ない先生チームが圧倒的に不利なんですけど…(T_T)）、さらに児童が勝った場合はロング昼休憩を獲得できるというルールで行いました。大会前日から「どこに隠れようかなあ」と各教室をまわって隠れる場所を探す子ども達。この大会を楽しみにしている様子が伺えました。

1回戦は先生が隠れ、児童が探すターン。結構粘った教員もいましたが、最後に得能先生が見つかりゲームセット。子ども達は見事、ロング昼休憩を勝ち取りました。2回戦は児童が隠れます。意外と隠れる場所が少なく、1カ所で複数人発見する場合もあり、順調に隠れている児童の数を減らしていきました。また、グラウンドに隠れている児童は靴箱で確認。シューズが入っている児童を確認して探しました。制限時間3分前には、残りあと1人、仁君を見つけたら先生チームの勝利というところまでこぎつけましたが、ここからが大変。どこを探してもいないのです！ 焦る先生たち。カウントダウンしながら「がんばれ仁君！」と応援する子ども達。結局そのままタイムアップで、2回戦目も子ども達が勝利してロング昼休憩を勝ち取りました。次は7月、プールで何かできないか考え始めているようです。今度はどんなことを企画するのか楽しみです。

